

薬物依存症班

班員

- ◎ 医学科3年 佐々木 大貴
- 医学科3年 金光 芳樹
- 医学科3年 妙中隆大朗
- 医学科2年 深澤 和憲

薬物依存症って何??

薬物依存症とは・・・



生体と薬物の相互作用の結果生じる、特定の精神的、時にまた身体的状態を合わせていう。
その薬物を継続的あるいは周期的に摂取したいという強迫的欲求を常に伴う行動やその他の反応によって特徴づけられる状態をいう。

(1969WHO専門委員会より抜粋)

薬物とは・・・

摂取することによって気分が変化し、
依存をもたらす物質のこと

覚せい剤やシンナーなどの違法薬物だけでなく、
アルコール、たばこ(ニコチン)のように嗜好品に位
置づけられているものや、せきどめ薬などの市販
薬、睡眠薬・抗不安薬のような処方薬も含まれる

出典：ASK(アルコール薬物問題全国市民協会)

薬物依存症の症状

精神的依存

- 渴望
- 反跳現象

肉体的依存

- 離脱症状

活動に至る経緯

薬物依存症に興味を持った理由

薬物依存は案外身近な問題！？

昨年の活動において

- 当時2年の佐々木がケニアへ旅立つべく福岡空港の持ち物検査を受けた
- その持ち物には、活動の受け入れ先の先生から頼まれた「にがり」が・・・
- 通り抜けようとしたら怖い顔をした検査官に呼び止められた

空港にて

- 検査官の手には白い粉が握られていた
- 麻薬取締員の方がそれを検査しに来た
- 注意された
他人から頼まれた物を運んではいけない

関西4大1年生860人が「大麻使用直接見た」

- 同志社、立命館、関西学院、関西の4大学は、今春入学の1年生に行った違法薬物などに関する意識調査結果を発表した。
- 「大麻を使用しているところを直接見たことがあるか」との問いには1万9587人のうち866人(4・5%)が「ある」と回答。

(2013年11月11日09時26分 読売新聞)

これらを通して

違法薬物が身近に感じられた

なぜアメリカへ？

①世界**最大規模**の不正薬物市場

②依存症からの**回復**プログラム

なぜアメリカへ？

①世界**最大規模**の不正薬物市場

②依存症からの回復プログラム

薬物依存率(%)

Annual Prevalence of Use as a percentage of the population aged 15-64

	コカイン	大麻	覚せい剤
日本	—	0.3	0.3
南アフリカ	0.9	4	1
アメリカ	2.1	14	1.8

Prevalence All Drugs-国連薬物犯罪事務所(UNODC)より

薬物による死亡者数

(15歳～64歳)

地域	死亡者数	100万人当たりの死亡率
	予測数	予測数
アフリカ	27,350	48.2
北米	45,100	147.9
南米	4,250	13.8
アジア	77,750	28.6
ヨーロッパ	25,950	45.6
オセアニア	2,800	118.9
世界	183,500	71.0

出典: World Drug Report, 2011

なぜアメリカへ？

①世界**最大規模**の不正薬物市場

②依存症からの**回復**プログラム

なぜアメリカへ？

①世界最大規模の不正薬物市場

②依存症からの回復プログラム

回復プログラム

- Drug Court
- 医療機関
- 民間の薬物トリートメント施設

活動目的

「米国の医療機関等での研修を通じて、薬物依存症の現状について学習する。」

- － 日米間での薬物に対する考え方の違いについて考える
- － 薬物乱用者のその後を追う
- － 薬物依存問題に対してどう対処すべきか、について考察する

アメリカ

The United States of America



California !



アメリカ合衆国



- 面積 962.8万km²←日本の25倍
- 人口 3億875万人(2010年4月)
- 首都 ワシントンD.C.
- 言語 主として英語、スペイン語も
- 宗教 主にキリスト教(プロテスタントが多い)
- 50州から成る連邦国家
- 多民族国家

カリフォルニア州

- 州都 サクラメント Sacramento
- 人口 3700万人(1位)
- 面積 42万km²←日本の1.1倍
- 州成立 1850年
- 愛称 The Golden State



ディズニーランド・リゾート Disneyland Resort (アナハイム)



MAJOR LEAGUE BASEBALL



観光地！！



ユニバーサル・スタジオ・ハリウッド Universal Studios Hollywood (ロス)

食べ物



活動紹介

活動日程

- アメリカ
- 8/14 LAのドラッグコート見学
- 8/15 Practical Recovery (民間の薬物リハビリセンター、サンディエゴ)
- 8/16 Betty Ford Center (依存症専門のセンター、ラ・ホヤ)
- 8/17 医療大麻ディスペンサリー見学

活動日程

- 日本
- 5/28 福岡ダルク(博多区美野島)
- 9/17 赤城高原クリニック(群馬県)
- 9/26 国立精神・神経医療研究センター(東京都)

依存者たちのプライバシー保護のため
写真撮影禁止

アメリカでの活動

DRUG COURT



Drug Court

- 薬物事犯者を**治療**的手続きにのせ、その過程を裁判官が法廷で監督
- 治療を終えた被告人に対して、**公訴棄却**を行い裁判を終わらせる
- 1989に開始、現在、全米で2301のドラッグコートが稼働

依存への日本とは違う態勢

治療

公訴棄却

実際に見て

- 傍聴席に多くの人
- 傍聴席の人が裁判を受ける
→実は被告(私服)

実際に見て

- 仰々しいと思っていたが
ざっくばらんな雰囲気だった
- 薬物依存、Drug courtが
一般に受け入れられているのだと感じた

民間薬物依存センター





Betty Ford Center



- CaliforniaのRancho Mirageにあり薬物、アルコール中毒治療を提供する病院
- Betty Ford Instituteは適切な知識や経験が足りない内科医による中毒患者への不適切な治療を防ぐことを目的としています
- 12のステップを適宜用いる



日本での活動

Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC

Drug

Addiction

Rehabilitation

Center

藥物

病的依存

回復

施設

全国のダルク

2009年1月20日現在

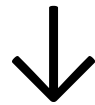
Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC



スタッフは全員が薬物依存者

ミーティング（12のステップ）、レクリエーション



“薬物を使わないで生きる”

↓ 継続

薬を使わないクリーンな生き方を
し、成長していくこと（回復）

実際に見て

- ミーティング時に見学(参加)
- 参加者は一般人と変わらない印象
- 依存症は誰でもなり得る**病気**なんだと再認識



独立行政法人
国立精神・神経
医療研究センター

National Center of
Neurology and Psychiatry

SMARPPとは？

- Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Programの略
- 認知行動療法による、薬物依存症治療プログラム

SMARPPミーティング

- センター外来受診者のミーティング
- 「言いつぱなし、聞きっぱなし」
- 対象薬物の再使用にも寛容

SMARPP-16

物質使用障害治療プログラム

Serigaya
Methamphetamine
Relapse
Prevention
Program



...me the serenity to accept the things I cannot change,
...change the things I can, and wisdom to know the difference

松本 俊彦医師のお話

- 違法薬物の使用に対して、通報は行わない
- 治療を優先
「医師の本分は治療である」



考察

活動から考えられたこと

- アメリカでは、日本に比べて依存症トリートメントが発達
- 薬物依存症とは、病気である
 - 慢性疾患である
 - 誰もがなり得る病気である
- ならば依存症の人々には、治療が必要！
 - 刑罰を与えれば良いという訳ではない！
 - 再使用も治療の一環としてとらえる

- アメリカでは、日本に比べて依存症トリートメントが発達



- 薬物依存症専用の対策として、用意されたドラッグコート
- (薬物犯罪の多さ)

ドラッグ・コートのエビデンス

無作為化比較試験において、ドラッグ・コート処遇者では対照群より再逮捕率が有意に低下した。

– 2003年、Maryland大学のD.Gottfredsonによる

- 薬物依存症とは、**病気**である
 - 慢性疾患である
 - 誰もがなり得る病気である



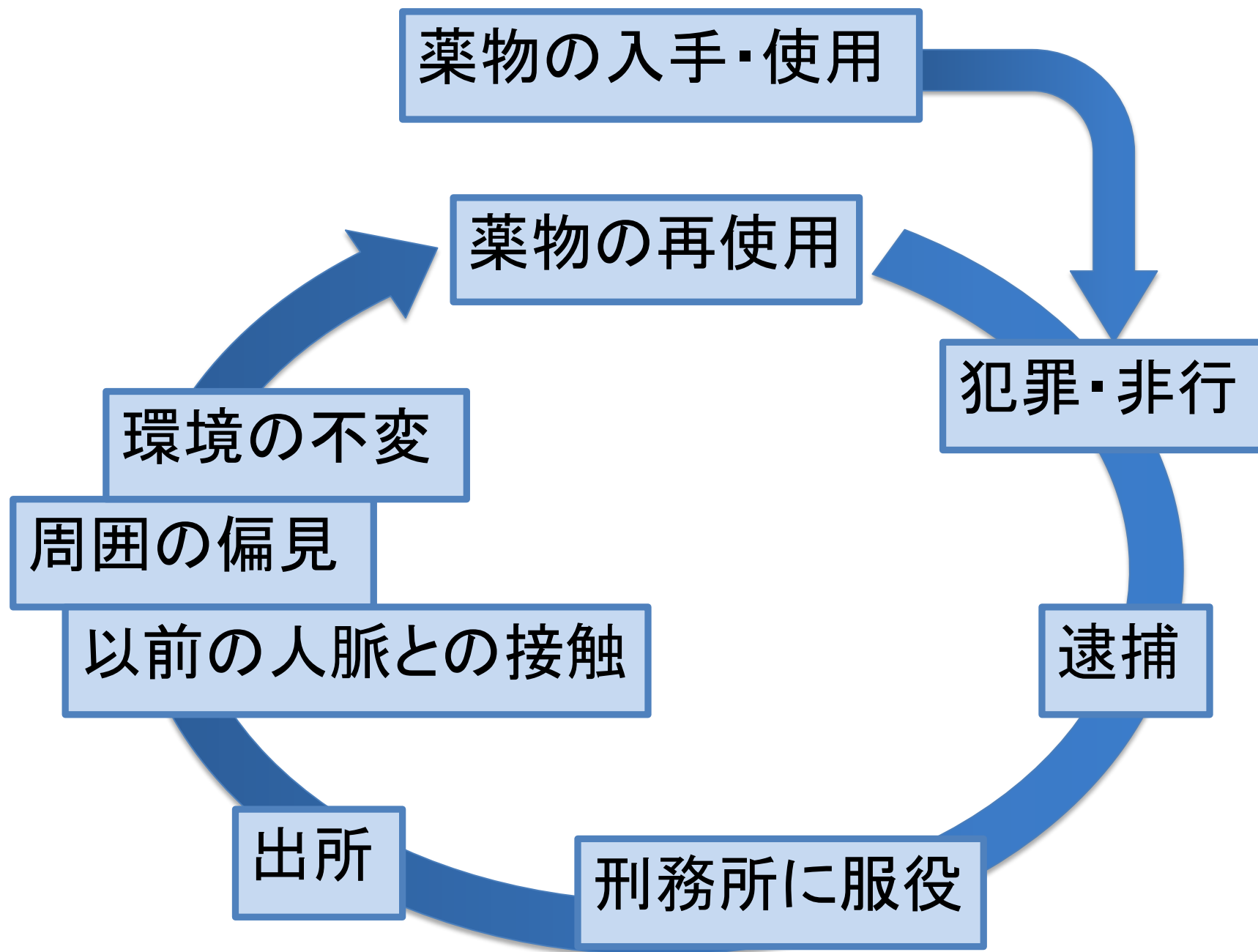
- ならば依存症の人々には、**治療**が必要！
 - 刑罰を与えれば良いという訳ではない！
 - 再使用も治療の一環としてとらえる

アメリカでの薬物依存症対策を詳しく見ていこう

全米薬物管理戦略

「薬物使用、犯罪、非行、そして刑務所等への
収容という負の連鎖を断ち切る」

薬物使用の負の連鎖？

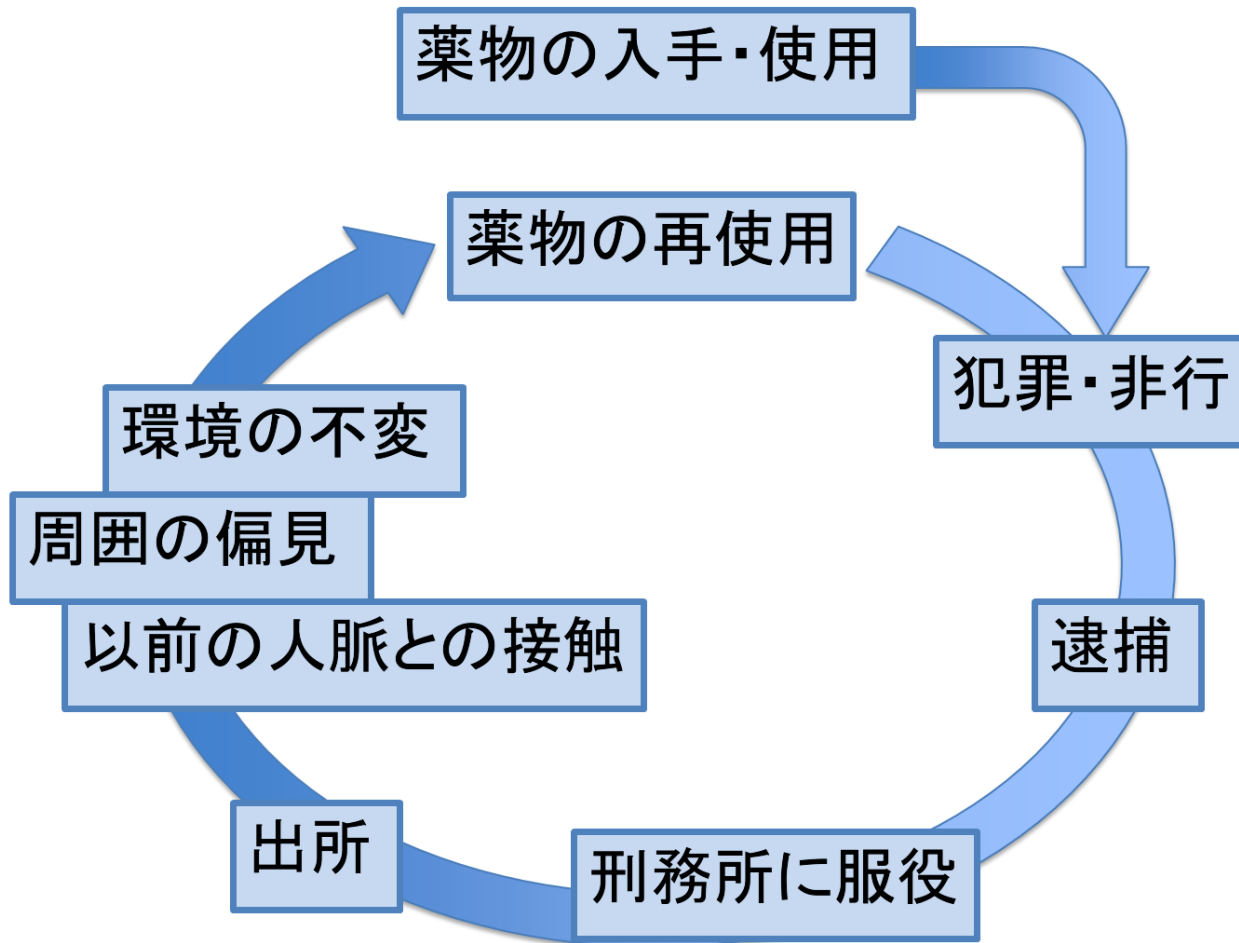


- どこにも集中した治療が盛り込まれていない
- 再使用を防止する仕組みがない

負の連鎖に対して、何をすればよいか？

負の連鎖から脇に逸れる選択肢

= **ダイバージョン** (diversion) を用意する！



薬物の入手・使用

入手機会を抑制する

薬物の再使用

環境の不変

周囲の偏見

以前の人脈との接触

社会復帰支援、施設・職業紹介

出所

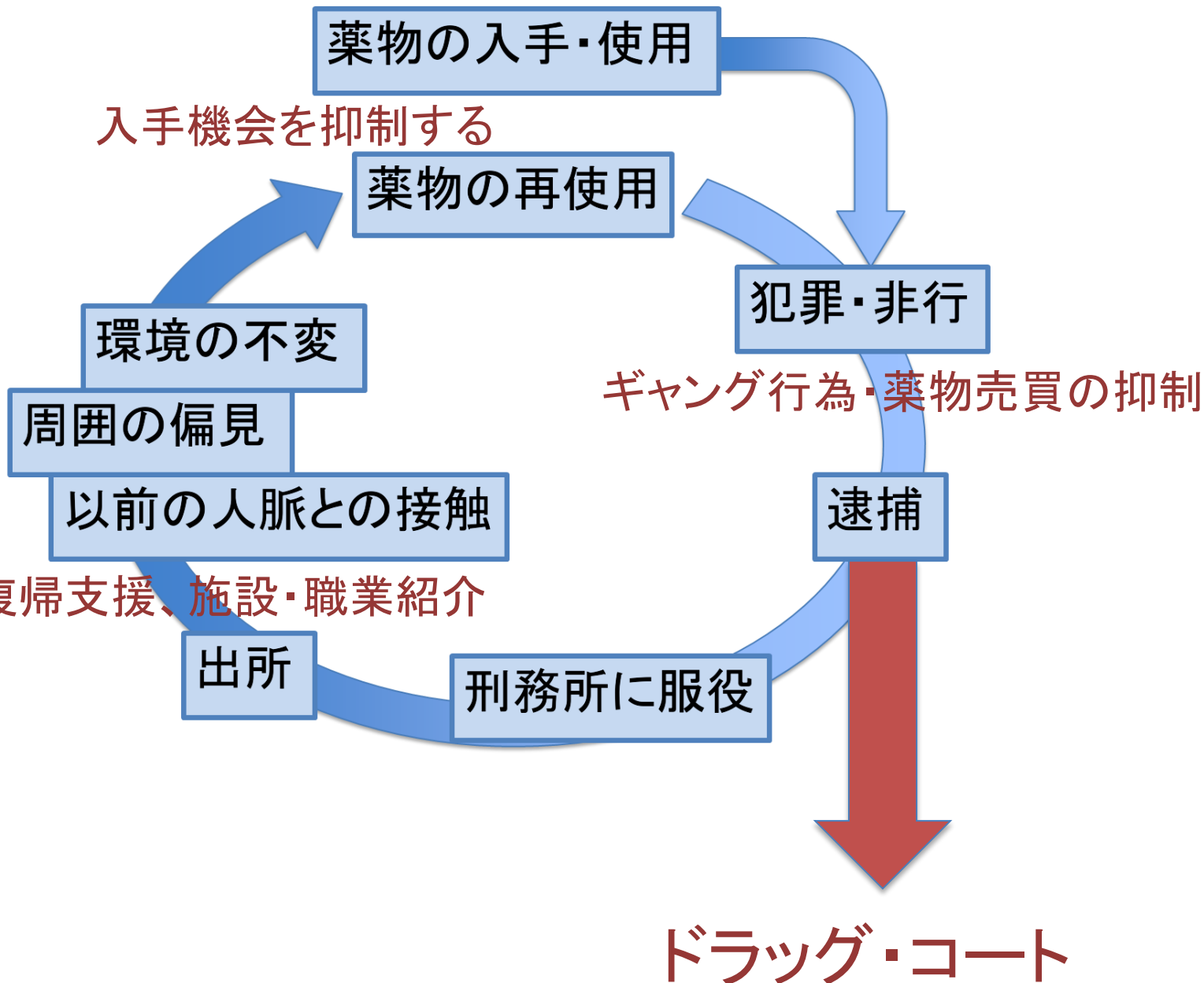
刑務所に服役

犯罪・非行

ギャング行為・薬物売買の抑制

逮捕

ドラッグ・コート



ダイバージョンの例

- ドラッグコート
- 保護観察処分→刑事司法の観察下に置き、再使用の機会を抑制する
- 逮捕前、薬物使用後に通院（医者は通報しない）

ダイバージョンの必要性

長期収容は、依存症脱却への足枷となっている

薬物依存症に陥った人々に逮捕以外の選択
を用意することで、早期脱却 & 再使用防止を
目指す

私たちは、日本でも薬物依存の患者さんたちを
見てきた。

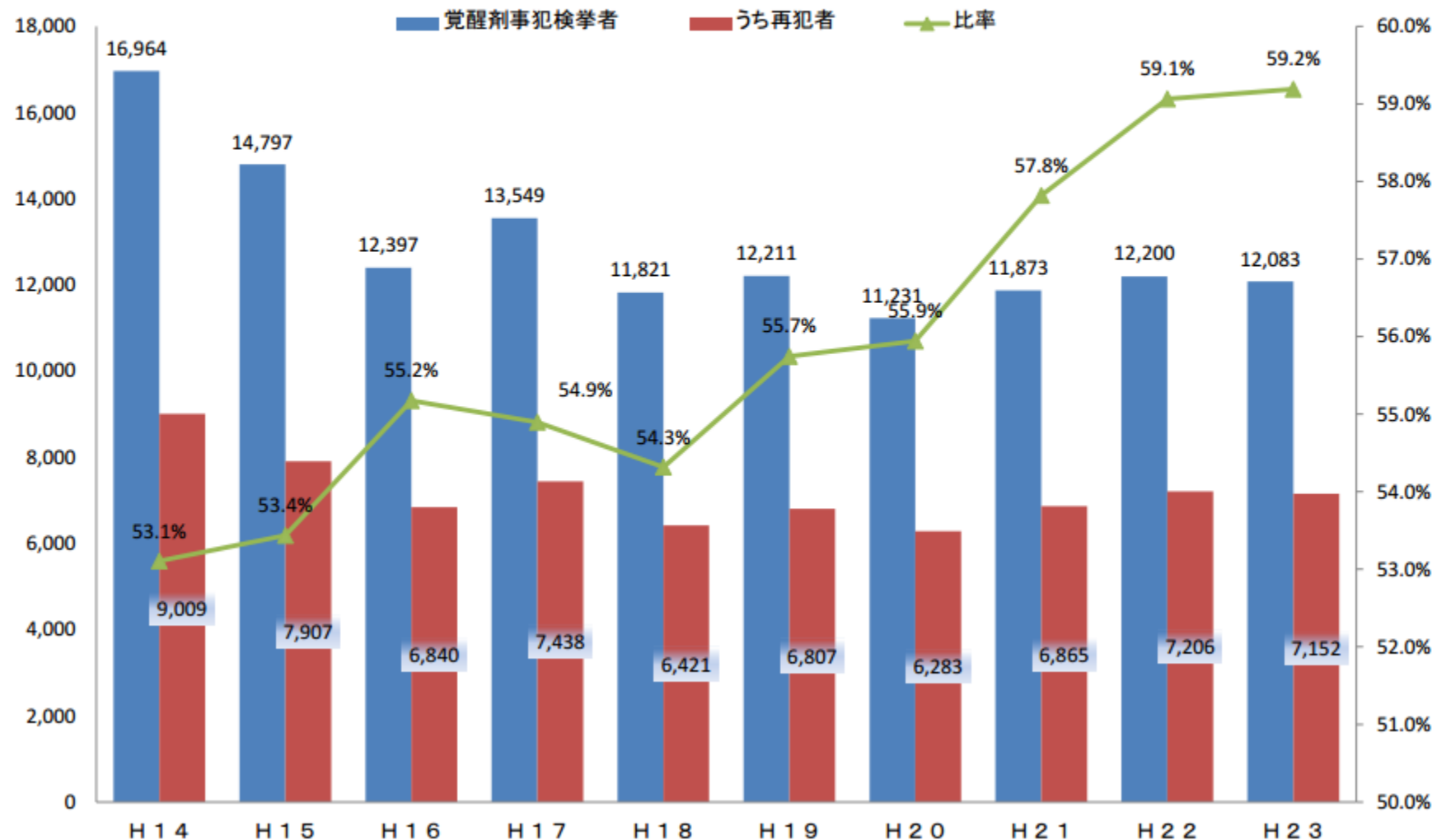


アメリカで見てきたダイバージョンを日本に応用
できないか？

日本で負の連鎖はどうなっているか？

日本では依然として高い再犯率

4. 覚醒剤事犯者と再乱用者の推移(過去10年)



7-3-1-3-5図

再犯状況（男女別）



注 1 法務総合研究所の調査による。

2 「覚せい剤再犯」は、覚せい剤取締法違反のみによる再犯のほか、これとその他の罪名の犯罪による再犯の場合を含む。

3 「その他再犯」は、覚せい剤取締法違反以外の薬物犯罪による再犯を含む。

4 （ ）内は、実人員である。

- 日本での薬物犯罪の再犯率は20%強

マイアミのドラッグコートを卒業した人々の再犯
率は6%！

ドラッグ・コートを日本でも作れないだろうか？

薬物の入手・使用

入手機会を抑制する

薬物の再使用

環境の不変

周囲の偏見

以前の人脈との接触

社会復帰支援、施設・職業紹介

出所

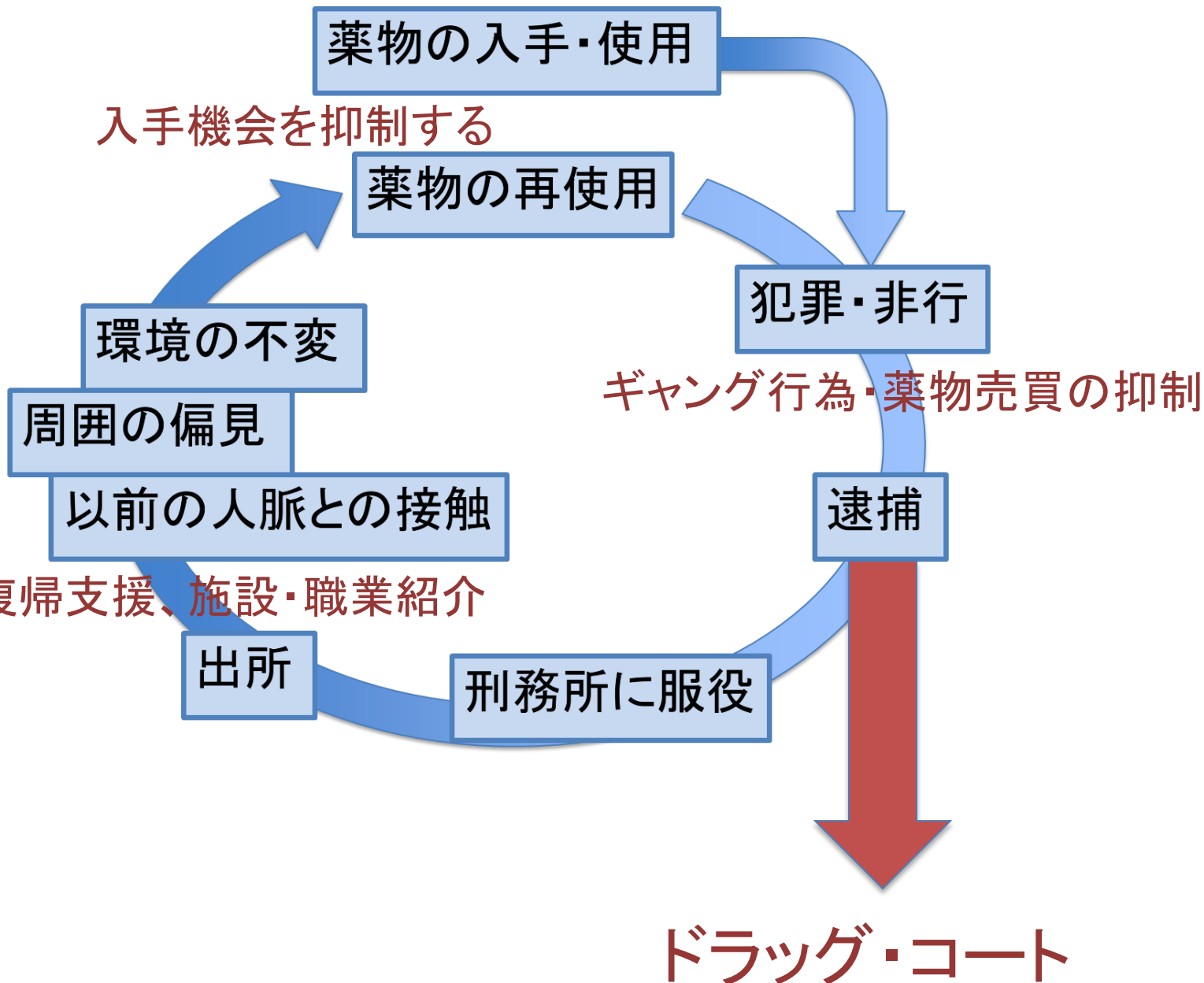
刑務所に服役

犯罪・非行

ギャング行為・薬物売買の抑制

逮捕

ドラッグ・コート



ドラッグコートを日本に取り入れる？

ドラッグコートを日本に取り入れる？



様々な弊害

①社会的な許容が十分でない

②スケールメリットの欠如

③法整備の難しさ

障害

- ①社会的な許容が十分でない
- ②スケールメリットの欠如
- ③法整備の難しさ

それでは、アメリカから学ぶ点はないだろうか

ダイバージョンという考え

日本でも用意できるダイバージョンとは？

Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC

Drug

Addiction

Rehabilitation

Center

藥物

病的依存

回復

施設

SMARPP-16

物質使用障害治療プログラム

Serigaya
Methamphetamine
Relapse
Prevention
Program



...the serenity to accept the things I cannot change,
...the things I can, and wisdom to know the difference

既存の民間のリソース

- 再犯率を下げる1つの方向性として、現在すでにある民間のリソースを活用するのはどうだろうか？？？

まとめ

活動

- アメリカで
ドラッグコート見学
Betty Ford Center
薬物依存症患者の関連施設
- 日本で
ダルク
国立精神・神経医療研究センター
松本先生のお話

考察

アメリカの重点的な薬物依存症対策



ダイバージョン

考察

ドラッグコートの日本への導入は難しい

ならば、

ダイバージョンという概念を

日本の薬物犯罪対策へ

→見学した日本の民間リソースの活用

日本の薬物使用の負の連鎖の改善に繋がる

日本の薬物使用の負の連鎖の改善に繋がる？

参考

- 厚生労働省、麻薬・覚せい剤行政の概況
- 松下正明他、薬物・アルコール関連障害（臨床精神医学講座 第8巻）、中山書店、1999
- デーブ・スペクター、近藤恒夫、ニッポンの（薬物）依存「ダメ。ゼッタイ。」では絶対にだめ！、生活文化出版、2011
- UNODC
 - <http://www.unodc.org/>

- 内閣府HP
 - <http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/drug-h23-us/pdf/1.pdf>
- アジア太平洋アディクション研究所、米国ドラッグ・コート制度
 - http://www.apari.jp/npo/drug_coto/1.pdf
- Betty Ford Center
 - <http://www.bettyfordcenter.org/>

- 犯罪白書－法務省
 - － http://hakusyo1.moj.go.jp/jp/nendo_nfm.html
- 薬物乱用の現状と対策－厚生労働省
 - － http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/dl/pamphlet_04.pdf

御清聴ありがとうございました！